

平成 29 年度仙台市環境局主要事業について

1. 低炭素都市づくり等推進

市民・事業者・行政の共通理解と役割分担のもと、都市の社会経済活動や都市づくりの中に、省エネルギー・省資源の仕組みが組み込まれた環境負荷のより小さい持続可能な都市づくりを推進するもの。

(1) 低炭素都市づくり推進

- ・ 熱エネルギー有効活用補助

太陽熱温水器など熱エネルギーを有効活用する設備の導入や、既存住宅の窓断熱改修等に対して費用の一部を補助する。

- ・ 温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

事業者が温室効果ガス削減に計画的に取り組む「温室効果ガス削減計画書制度」について、モデル事業により導入検討を進める。

- ・ せんだい E-Action 推進

市民一人ひとりがエネルギーの使い方を考え、省エネ・創エネ・蓄エネの 3 E を実践する啓発事業を市民・事業者・行政の協働により実施する。

(2) 市民・事業者の環境配慮行動促進

- ・ せんだい環境学習館「たまきさんサロン」運営

市民の環境学習の拠点として、環境団体や大学等と連携して講座を開催するとともに、図書等の貸し出しや情報発信、交流の場を提供し、環境教育や環境学習を推進する。

- ・ 環境教育・学習の推進

「杜の都の市民環境教育・学習推進会議」（愛称：FEEL Sendai）を運営し、総合的な環境教育・環境学習を推進する。また、学識経験者や環境関連団体が講師となる出前講座の情報を学校や地域団体等に紹介し、併せて講座の受講を支援する「環境出前講座ネットワーク」事業を行う。

2. ごみ減量・リサイクル推進

市民・事業者との協働により、ごみの減量・分別を考え、企画・実施する P D C A サイクルの構築を図りながら、生活ごみ及び事業ごみの減量・リサイクルの取り組みを進め、資源循環都市づくりを推進するもの。

(1) 市民との協働による生活ごみの減量・リサイクル

- ・ ごみ減量キャラバン 2017

クリーン仙台推進員や町内会と市職員との協働により、各地域の家庭ごみの排出実態を把握するとともに、地域住民や通行者等へごみの減量・分別の啓発を行う。

- ・ ワケアップキャンパス

大学生による「ワケアップキャンパス」が、若者ならではの視点と感性を生かし、広報ツールの開発や各種イベントなどを通して、ごみの減量に関する様々な情報発信を行う。

新 「モッタイナイキッチン」サイト運営

生ごみの減量につながる料理のレシピ投稿・閲覧機能などを有した生ごみ減量・リサイクル情報サイトを構築・運営する。

新 「資源ナーレ」展覧会の開催

「混ぜればごみ，分ければ資源」をアートで感じる展覧会を開催し，資源物を活用したアート制作や市民参加型ワークショップを実施する。

(2) 事業者との協働による事業ごみの減量・リサイクル

新 搬入ごみ展開検査装置の導入

清掃工場に搬入される事業系廃棄物について，内容物の確認・検査を機動的・効率的に行うための検査装置を導入する。

新 事業系生ごみ処理機購入費補助

事業系生ごみ処理機を導入する場合に，設置費用の一部を助成する。

- ・ 事業系共同資源物回収施設設置補助

商店街やオフィスビルなどが共同で紙類などの回収施設を設置する場合に，その費用を補助する。

- ・ 事業系紙類回収ステーションの利用促進

古紙問屋等の協力によって開設された，事業者が無料で紙類を持ち込める紙類ステーション（市内 18 カ所，平成 29 年 3 月末開始）の利用を促進する。

3. 生物多様性保全推進等

「仙台市生物多様性地域戦略」（平成 29 年 3 月策定）に基づき，市民，NPO，学生，有識者等と連携しながら，市民の生きものへの関心向上を図るための取り組みを進める。また，ツキノワグマによる被害の未然防止のため，市民啓発等の対策を強化する。

(1) 生物多様性保全推進

新 生物多様性保全推進事業

生きものの発する「音」を共通のテーマとして，身近な生きものやその生息環境である里地里山などの重要性，魅力を広く発信するための啓発事業を市民協働により進める。

(2) ツキノワグマに関する対策強化

- ・ 市民啓発強化

仙台市 HP 上に，「クマ出没情報マップ」を公開するとともに，出没が多い地域において，クマの生態や対策について理解を深めるための講座を開催。

- ・ 専門家による誘引物等の現地調査や迅速な捕獲対応